

中学生アンケート調査「中川村のまちの未来を考えよう」の結果

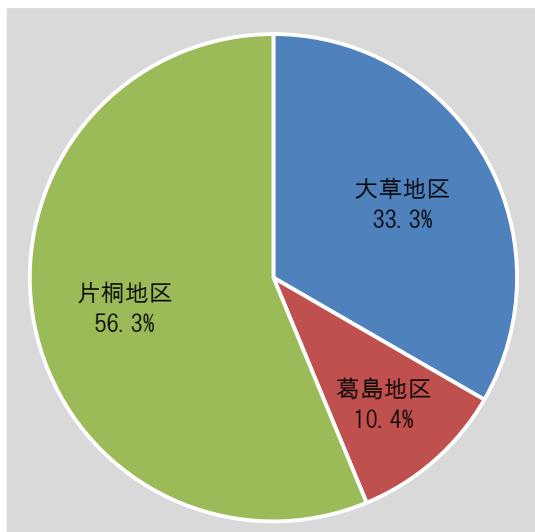
調査の概要

立地適正化計画策定等にあたり、これからの中川村の在り方について若者の思いを計画に反映させるため、令和7年10月23日に中川中学校2年生の皆さんに計画やアンケートの目的等の説明を行い、48名から調査の回答をいただきました。

<回答者自身のこと>

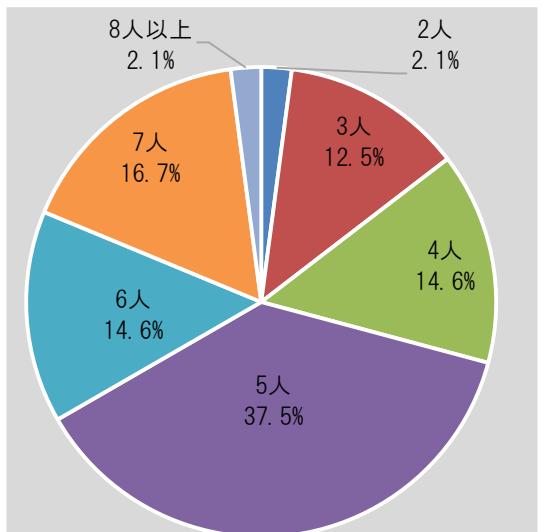
【問1】住んでいる地区はどちらですか

片桐地区が半数以上を占めています。



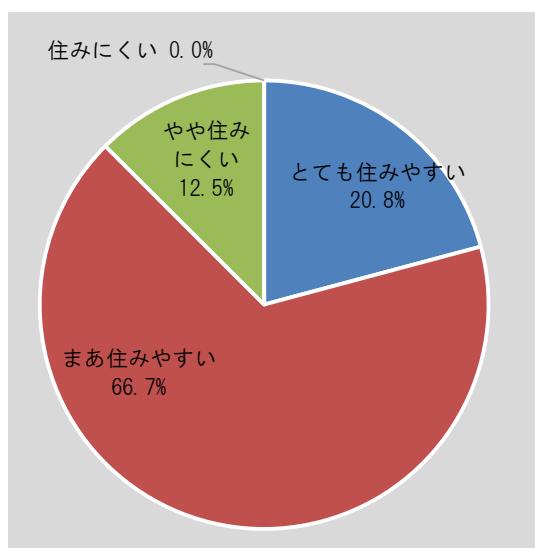
【問3】何人家族ですか

5人家族が37.5%と最も多いとなっています。



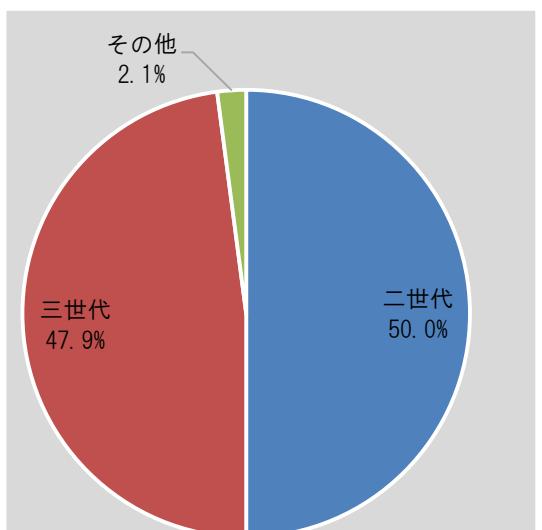
【問2】地区の住みやすさはいかがですか

とても住みやすいが20.8%、まあ住みやすいが66.7%を占めました。住みにくいと感じる人は12.5%にとどまっており、ほとんどの人が住みやすいと感じています。



【問4】家族構成をお答えください

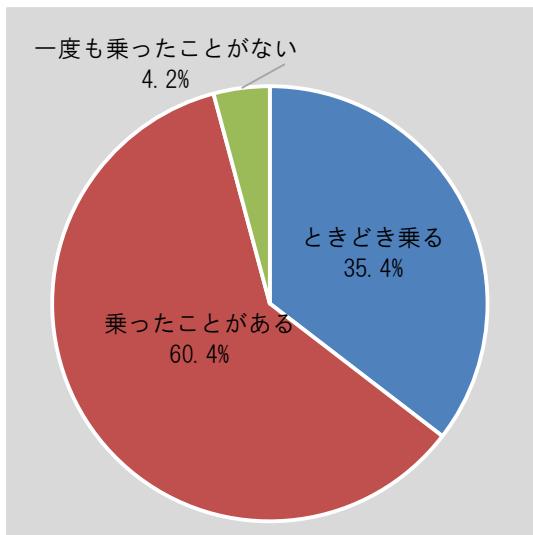
二世代と三世代はだいたい同じ割合です。



＜電車やバスの利用について＞

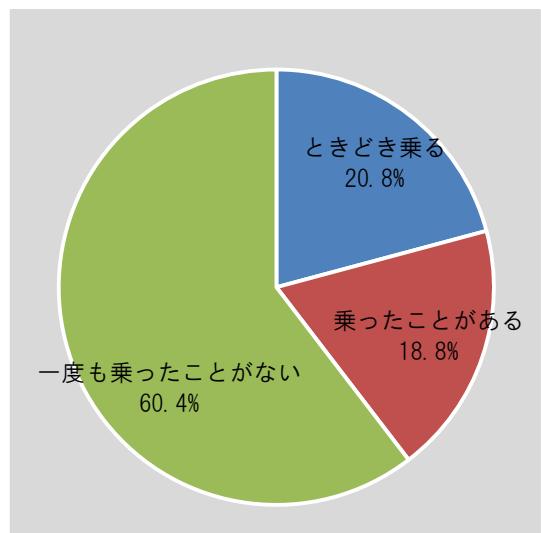
【問5】JR飯田線をどのくらい利用してますか

ほとんどの人が鉄道を利用したことがあることがわかります。ときどき乗る人は35.4%で、一度も乗ったことがない人が2人(4.2%)いました。



【問6】のっチャオをどのくらい利用してますか

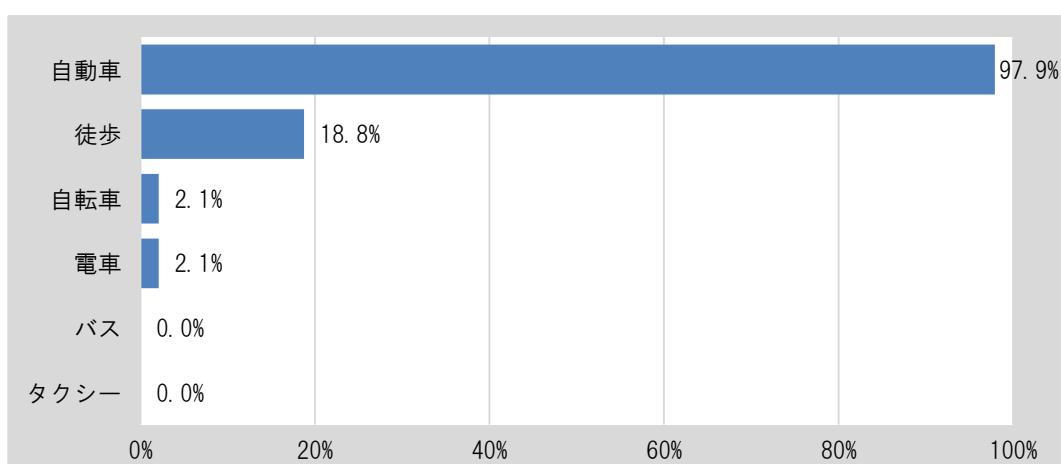
約2割の人が「ときどき乗る」と答えています。また、利用経験がある人も約2割で、全体の6割は一度も乗ったことがない状況です。



【問7】買い物に行くとき、どの交通手段を使うことが多いですか

家族の人と買い物に行く時は、ほとんどの人が自動車を使っていて、他の方法はとても少なく、車がないと買い物がしにくく環境になっていると言えます。

徒歩と答えた人もいましたが、その多くは片桐地区の人たちで、家の近くにお店がある地域では歩いて行けることがわかります。



＜村のよいところ、悪いところ＞

【問8】中川村に住んで素晴らしいと思うこと、直してほしいことは何ですか

中川村の素晴らしいところとして、「自然や景色」を挙げた人が非常に多く、回答者48人中46人がこの点を挙げています。美しい山や川、清々しい空気など、日常生活の中で身近に自然を感じられることが、大きな魅力となっているようです。次に多かったのは「人や地域の温かさ」で、25人が回答しました。挨拶を交わす人が多く、地域で助け合う雰囲気があることが、「住みやすさ」を感じさせる理由になっていると考えられます。このように、中学生の皆さんには村の自然の豊かさや地域の温かさといった魅力をよく理解し、大切に感じていることがうかがえます。

一方で直してほしいところについては、最も多かった意見が「商業施設やお店の少なさ」で、近くで買い物ができる場所を求める声が多く寄せられました。次いで「遊べる場所が少ない」という意見が多く、友達と過ごせる施設など楽しむ場所の充実を望む声が目立ちました。

【村の素晴らしいところ】

○自然や景色が良い 46人

- ✓ 自然が豊か／自然がいっぱいある／自然がきれい 22人
- ✓ 景色が綺麗／景色がいい／景色が美しい 12人
- ✓ 空気がきれい／空気・水が美味しい 9人
- ✓ 木が多い、季節ごとの自然が豊富、星がきれいに見える 3人

○人や地域のつながり 25人

- ✓ 人が優しい／人が温かい／みんな優しい／親切 16人
- ✓ 地域のつながり・横のつながりが強い／ 5人
- ✓ 地域イベントやお裾分けがある 3人
- ✓ 思いやりがある／人柄が良い／気遣いできる 1人
- ✓ 挨拶を交わすなど、日常の声かけがある 1人

○ゴミが少ない 3人

- ✓ ゴミが少ない／ゴミがあまり目立たない 3人

【直してほしいところ】

△商業施設やお店がほしい 34人

- ✓ お店が少ない・増やして／日用品が買える店が少ない／店が遠い 21人
- ✓ コンビニの充実希望／コンビニが遠くて行きづらい 9人
- ✓ スーパー、ショッピングモール、本屋、日用品以外の店がほしい 4人

△レジャーや遊ぶ施設がほしい 20人

- ✓ 遊べる所、遊び場が欲しい（ゲームセンター、遊園地、プリクラ） 14人
- ✓ 公園の整備（草刈り、筋トレ用具の設置） 3人
- ✓ チヤオのような大型店や人が集まる施設が近くにほしい 2人
- ✓ コミケに行きたい 1人

△交通の便が悪い 23人

- ✓ 移動手段が少ない・増やしてほしい／村外への移動手段がない／電車が少ない／子どもの遠距離交通手段がない 12人
- ✓ 駅が遠い／もっと近くに駅がほしい 5人
- ✓ 道路の状態（陥没、でこぼこ、細い坂道、広くしてほしい） 5人
- ✓ 家に帰るまでの坂が多くてきつい 1人

△街灯・夜間の照明がほしい 6人

- ✓ 街灯を増やしてほしい／夜間の電灯がほしい 6人

△環境美化・マナーが悪い 2人

- ✓ ゴミを道路に落とさないでほしい／ポイ捨て防止 2人

※同じ人がいくつも答えている場合があります。

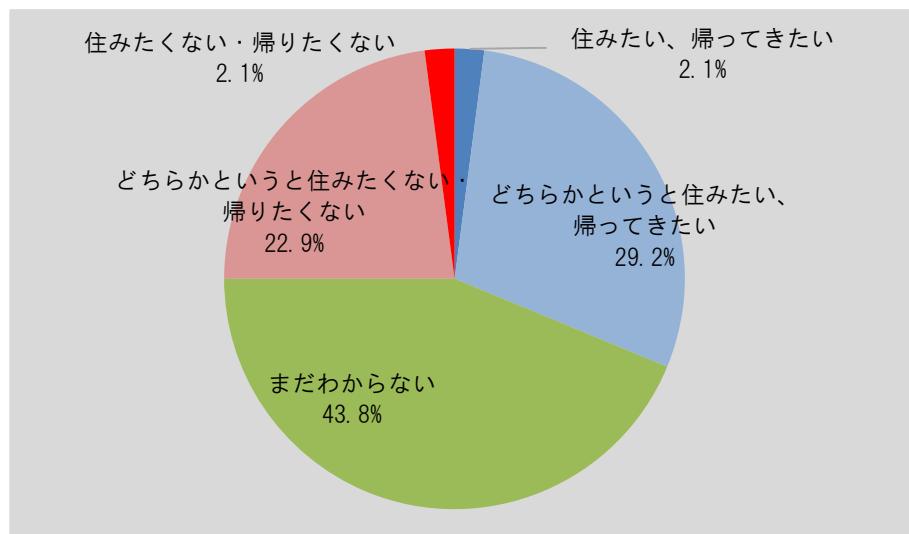
<将来の村への居住意向>

【問9】将来、中川村に住みたいですか。

将来の村への居住意向について、「まだわからない」が最も多く44%を占めており、多くの中学生が将来について迷いや不確実さを抱えていることがうかがえます。

その一方で、「どちらかというと住みたい・帰ってきたい」が29%であり、村への関心も見られます。「どちらかというと住みたくない・帰りたくない」は23%とやや高めです。

住みたい、帰ってきたい人は、「慣れ親しんだ場所で安心できる」「自然がきれい」「地元が好き」という理由が多いです。まだわからない人は、将来の進学や仕事が決まっていなかったり、他の場所に憧れがあったり、家の事情で迷っていることが多いです。一方で、住みたくない人は「お店が少ない」「都会に住みたい」「仕事がない」などの理由があり、生活の便利さや仕事の不安が表れています。



【理由】

住みたい、帰ってきたい人の理由

- ✓ 地元の福祉施設に就職したい 1人

どちらかというと住みたい、帰ってきたい人の理由

- ✓ 慣れ親しんだ場所・安心感がある 9人
- ✓ 自然環境が素晴らしい 3人
- ✓ 地元への愛着がある 3人

どちらかというと住みたくない、帰ってきたくない人の理由

- ✓ お店・商業施設などが少ない 6人
- ✓ 都会・街なかに住みたい 5人
- ✓ 就職のため 4人
- ✓ 他に住みたい場所がある 2人
- ✓ 自然が多すぎる 1人

住みたくない、帰ってきたくない人の理由

- ✓ つまらない 1人

まだわからない人の理由

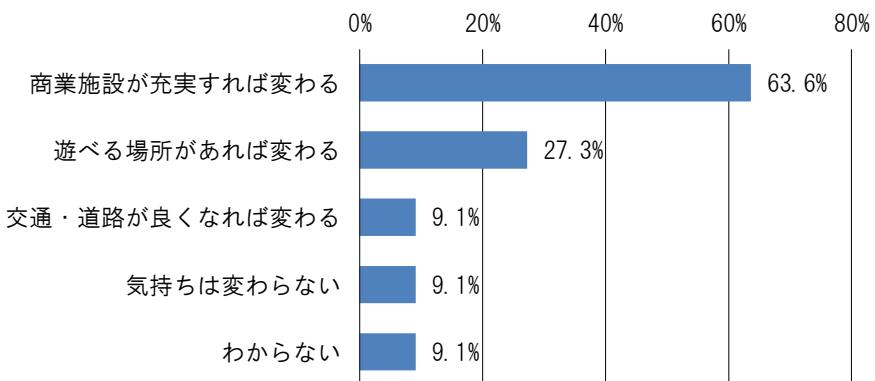
- ✓ 将来の進学・就職が決まっていない 15人
- ✓ 他の場所への憧れがある 6人
- ✓ 家業や家の都合でわからない 4人

【問10】中川村の何が変われば「住みたい、帰りたい」に考えが変わりますか。

(住みたくない、帰りたくないと回答した人が対象)

住みたくない、帰りたくないと答えた人の多くは、お店や商業施設がもっとあれば「住みたい・帰りたい」と思うと答えています(63.6%)。

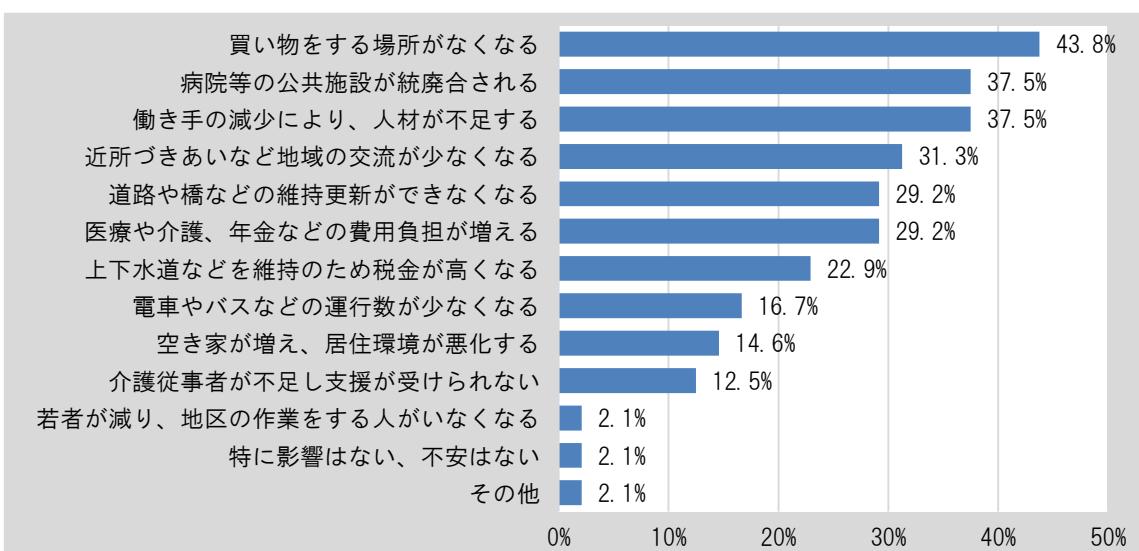
また、遊べる場所があればいいなと思っている人も約3割います。交通や道路が良くなれば変わるという人は少ないですが、村がもっと暮らしやすく楽しい場所になることが、帰りたい気持ちにつながると思われます。



＜将来の影響について＞

【問11】人口減少・少子高齢化の進行にともなって、将来あなたの身の回りや日常生活に影響が及んでくると思われること、不安に思うことはありますか

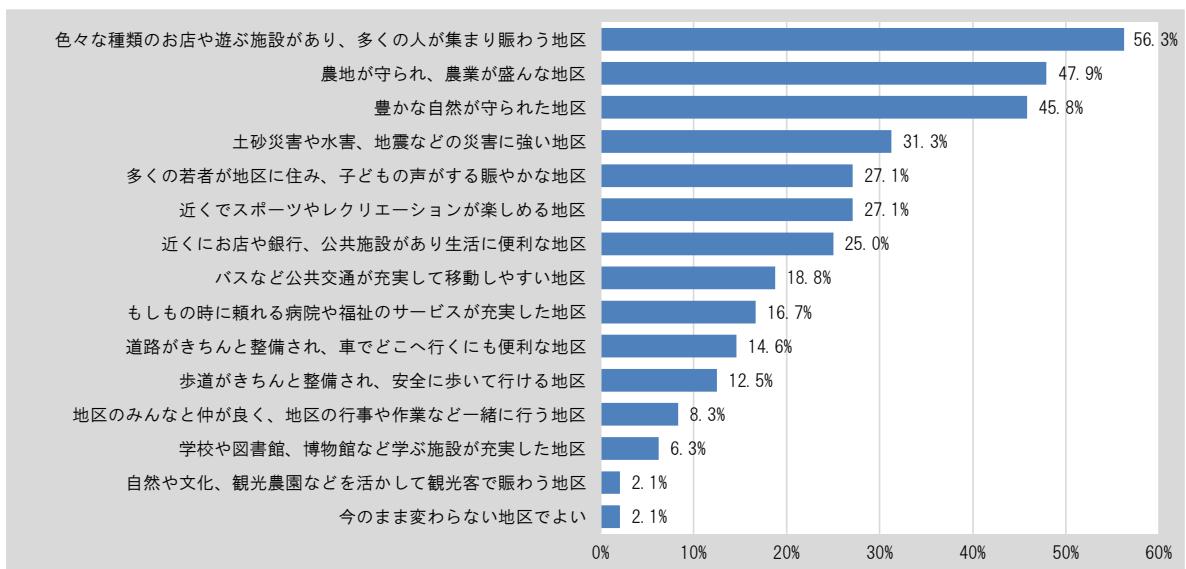
中学生の多くは、人口減少や少子化で「買い物をする場所がなくなる」ことを最も心配しており(43.8%)、生活の不便さへの影響を強く感じています。次いで「病院など公共施設の統廃合」や「働き手の減少による人材不足」が同率で37.5%と高く、地域の暮らしや働く環境の変化に不安を持っています。また、「地域の交流が減る」「道路や橋の維持が難しくなる」などインフラや人間関係の問題も気になっています。全体的に、生活の基盤が弱くなることへの不安が目立ちます。



＜地区の将来像＞

【問12】あなたが住んでいる地区は、将来どのように発展してほしいですか

住んでいる地区の将来像について、多くの中学生は「色々なお店や遊ぶ施設があり、多くの人が集まり賑わう地区」を望んでいます（56.3%）。次いで「農地が守られ農業が盛んな地区」や「豊かな自然が守られた地区」も高く、自然環境と地域の活気の両方を大切に思っていることがわかります。また、防災や若者の定住、スポーツや公共交通の充実も重視しており、安全で便利な暮らしを求める気持ちがうかがえ、生活の楽しさや安心感に重点を置いています。



【問13】中川村のまちづくりについてご意見やご提案

村の未来に期待し「より良く、住みやすい村になってほしい」という前向きな思いが多く見られました。特に、お店や遊び場を増やしてほしいという要望が多く、日常の楽しさや利便性を求める声が強いことがわかります。一方で、今ある自然を守ってほしいという意見も多く、発展と自然保全の両立を大切にしている様子がうかがえます。道路や街灯などの整備、交流の場づくりを求める声もあり、安心して過ごせる環境づくりへの関心も高いことが示されています。

- | | |
|---|-----|
| ○村の未来への期待・より良い村への願い
(村が良くなつてほしい・発展してほしいなど) | 15人 |
| ✓より良い村になつてほしい
✓発展してほしい
✓賑やかになつてほしい
✓楽しく暮らせる村に
✓住みやすい村に
✓全員が気持ちよく過ごせる村
✓将来への期待、村のことを考えていきたい | |
| ○商業施設・遊び場の充実を求める意見
(お店、ショッピング、娯楽施設、遊び場など) | 13人 |
| ✓商業施設を増やしてほしい
✓食べ物のお店がほしい
✓遊び場がほしい
✓テーマパークまではいかない交流施設
✓お店を増やして明るくする
✓生活に必要な店を増やしてほしい | |
| ○自然を守つてほしい・自然に関する意見
(現在の自然を維持、魅力として守るなど) | 7人 |
| ✓自然、緑を残してほしい、今の自然は守つてほしい
✓自然が豊かで嬉しい
✓自然を守りながら発展してほしい
✓景色が良いから残してほしい | |
| ○インフラ・交通・道路の改善
(道路整備、街灯、安全など) | 6人 |
| ✓道路や歩道を整備、ガタガタな道を直す
✓街灯を増やす
✓安全に関する整備
✓交通手段の充実 | |
| ○コミュニティ・交流・健康づくり | 5人 |
| ✓村民の交流ができる施設
✓高齢者とスポーツ大会
✓みんなで協力していく | |
| ○計画への感想・評価
(むらづくりの取組の意見) | 7人 |
| ✓良いことだと思った
✓すごいと思った
✓中川村を良くしようとしているのが良い
✓中川村の未来について考えていてすごい
✓このむらづくりが良い方向につながつてほしい
✓未来について知れてよかったです
✓賑やかになる政策が良いと思う | |
| ○施設・学校に関する意見(校舎や既存施設を残すなど) | 1人 |
| ✓東小・西小の思い出があるので残してほしい | |

【問14】10月23日のまちづくり授業の感想

授業を通じて、多くの中学生が中川村の現状や人口減少の課題を理解し、将来について自分の考えを深めることができたと感じています。「村はピンチだとわかった」「将来のことをしっかり考えられた」といった声が多く、学びの効果が大きかったことがうかがえます。また、自分ごととして捉えるようになり、「村づくりに関わりたい」「協力したい」という主体的な意識の変化も見られました。さらに、村への期待や応援の気持ちが芽生えた生徒も多く、授業が前向きな気持ちを育む機会になったと考えられます。授業そのものも「わかりやすかった」「楽しかった」という好意的な感想があり、全体として良い時間と見受けられました。

○中川村の現状や将来について理解・学びが深まった（理解・気づき） 41人

- ✓ 中川村の人口減少や現状がわかった
- ✓ 将来の村について考えられた
- ✓ 中川村の問題や課題を知れた
- ✓ 都市化や村づくりについて詳しく知れた
- ✓ 将来のことをしっかり考えられた
- ✓ 中川村はピンチだとわかった

○自分事として考えるようになった（主体性・意識の変化） 15人

- ✓ 自分ごととしてしっかり考える大切さがわかった
- ✓ 村の未来について考えるきっかけになった
- ✓ 村づくりに関わりたいと思った
- ✓ 協力したいと思った

○村の将来への期待・応援の気持ち 12人

- ✓ この活動を応援したい
- ✓ より良い村になってほしい
- ✓ 村が発展してほしい
- ✓ 村の自然や良さを守ってほしい

○授業の説明・進行についての感想（内容のわかりやすさ・楽しかった） 10人

- ✓ わかりやすい説明だった
- ✓ 楽しかった
- ✓ 難しいけど考えるきっかけになった
- ✓ 話が長くて疲れたがためになった

○その他 5人

- ✓ 自分の家族に教えたい
- ✓ 駅の数を増やしてほしい
- ✓ すごく大事な時間だった